

事業報告

自：平成 25 年 4 月 1 日

至：平成 26 年 3 月 31 日

戦後の開拓事業により入植した開拓者は、開拓営農を展開し、国民・消費者に安心・安全な食料の供給の一翼を担ってきており、この開拓営農は、二世、三世に引き継がれ、積極的に展開されております。

農業を取り巻く情勢は、為替が円安で推移し、原油や輸入穀物等の上昇による配合飼料価格の値上がり等厳しい状況が続くなど農畜産の経営が厳しい状況にありました。

国は、私たち農業者ばかりでなく、国民全体に大きな影響を与える環太平洋経済連携協定（TPP）との交渉を進め、大詰めの段階に入っているとされており。また、豪州、欧州、カナダ等との経済連携協定（EPA）／自由貿易協定（FTA）交渉が進められ、平成 26 年 4 月、豪州との経済連携協定については牛肉等の大幅な関税の引き下げをすることで大筋合意がなされました。交渉が進められている環太平洋経済連携協定や経済連携協定、自由貿易協定の合意結果によってはわが国の農業に大きな影響を及ぼすことも考えられますので、この動向を注視していく必要があります。

このような中であって、当協会においては、これまで実施してきました開拓営農振興事業などの事業を着実に実施しました。

具体的には

- ① 全国開拓青年・女性研修会は会員の協力を得て全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会と共催し、開拓営農の後継者である全国各地で活躍している青年・女性の研鑽と互いの絆の強化を図りました。
- ② 会員及びブロック協議会等が実施する各種研修会、共進会及び開拓地の農畜産物を消費者に広くPRするための行事に対し助成しました。
- ③ 農業の国際化に伴い開拓農家の後継者、開拓組織の職員等に国際感覚の涵養を図るため、オーストラリア連邦で研修をしました。
- ④ 「開拓情報」で農政の動き、畜産技術・畜産経営に関する情報、中央・地方の開拓組織の活動を中心に幅広い情報提供に努めました。

これらは、いずれも会員をはじめ関係機関の指導と協力により円滑に実施することができました。

I 一般概況

1 重要な処理事項

開催年月日	事項
・平成 25 年 4 月 22 日	・決算監査、第 1 回監事会
・平成 25 年 5 月 10 日	・第 1 回理事会
・平成 25 年 6 月 19 日	・第 2 回理事会
・平成 25 年 6 月 20 日	・第 1 回定時総会
・平成 25 年 10 月 8 日	・講演会（北海道）
・平成 25 年 10 月 30 日	・第 3 回理事会
・平成 25 年 11 月 3 日～10 日	・海外研修（オーストラリア）
・平成 25 年 11 月 19 日～21 日	・全国開拓青年・女性研修会（岩手県）
・平成 25 年 12 月 12 日	・第 4 回理事会
・平成 25 年 12 月 13 日	・提案書（第 1 回臨時総会）発出
・平成 26 年 3 月 3 日	・第 1 回役員推薦委員会、第 2 回監事会
・平成 26 年 3 月 3 日	・第 5 回理事会
・平成 26 年 3 月 4 日	・九州ブロック会議（福岡県）
・平成 26 年 3 月 11 日	・北海道、東北、関東、中部関西合同ブロック会議（東京都）

2 総会、理事会

(1) 総会

○ 第 1 回定時総会

- ・招集文書の発送 平成 25 年 5 月 22 日
- ・総会開催日 平成 25 年 6 月 20 日
- ・総会現在日会員数 24
- 出席者数 24 （内訳） 本人出席 22
- 書面議決 2
- ・議決（承認）事項
 - 第 1 号議案 平成 24 年度収支決算書等の承認の件
 - 第 2 号議案 平成 25 年度役員報酬決定の件
- ・報告事項
 - 平成 24 年度事業報告の件
 - 平成 25 年度事業計画及び予算の件

○ 第1回臨時総会（みなし決議）

提案者 会長（代表理事）戸田久市

提案書発出日 平成25年12月13日

提案の内容

第1号議案 理事3名選任の件

第2号議案 監事1名選任の件

決議があったものとみなされた日 平成26年1月10日

(2) 理事会

○ 第1回理事会（平成25年5月10日）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①平成24年度事業報告及び収支決算書等について
- ②平成25年度事業計画及び収支予算の訂正について
- ③基本財産の指定について
- ④役員報酬について
- ⑤定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等について
- ⑥今後の予定

報告事項

- ①ブロック会議の質疑（概要）について
- ②公益認定等について
- ③監事監査規程について

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、欠席0名、
監事出席3名

○ 第2回理事会（平成25年6月19日）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①特定資産の廃止について
- ②今後の予定

報告事項

- ①第1回定時総会について

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、欠席0名、
監事出席3名

○ 第3回理事会（平成25年10月30日）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①上半期の業務執行状況の報告について
- ②役員候補者推薦に関する規程の制定について
- ③全国開拓代表者大会積立資産規程の制定について
- ④開拓営農概要積立資産規程の制定について
- ⑤理事会運営規則の一部改正について

報告事項

- ① 今後の予定について

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、欠席0名、
監事出席3名

○ 第4回理事会（平成25年12月12日）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①補欠役員候補者の推薦について
- ②叙勲祝賀会について

報告事項

- ①今後の予定について

出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席0
名、監事出席2名

○ 第5回理事会（平成26年3月3日）

開催場所 三会堂ビル

議決（承認）事項

- ①平成25年度第3・四半期の職務執行状況報告について
- ②義援金の支出について
- ③平成26年度事業計画及び平成26年度予算等について
- ④役員の公募について

報告事項

- ①次期理事候補者の推薦依頼について
- ②今後の予定について

出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1
名、監事出席3名

3 会員の状況

区 分		会 員			
		前年度 末現在	本年度 加 入	本年度 脱 退	本年度 末現在
中央団体		2			2
地方団体		2 2		1	2 1
地 方 団 体 内 訳	農協連合会	4			4
	農 協	1 2			1 2
	開拓者連盟	3		1	2
	開拓振興協会	3			3
合 計		2 4		1	2 3

4 役職員

区 分		前年度末 現 在	本年度 就 任 (採 用)	本年度 退 任 (退 職)	本年度末 現 在
役 員	常 勤 役 員	1			1
	非 常 勤 役 員	8	3	3	8
	監 事	3	1	1	3
	計	1 2	4	4	1 2
職 員	一 般 職 員				
	嘱 託 職 員				
	出 向 職 員	2	3	3	2
	臨 時 職 員	1			1
計		3	3	3	3

5 情報公開

定款、会費規程、役員報酬規程、会員名簿、役員名簿、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、事業計画、予算を公開しています。

II 開拓者支援事業（公益目的事業（公1））

開拓者支援事業は、「開拓者の営農の振興を図り国民への食料の供給の推進を図るため、研修事業、開拓情報事業、開拓営農振興事業及び調査・研究を实

施しました。

1 研修事業

開拓者及び開拓後継者の資質の向上、研鑽を図るとともに、開拓者の相互の交流を図ることにより、開拓者の農業経営の発展及び開拓営農の一層の推進を図り、国民生活に不可欠な食料の供給を図るため、次の事業を実施しました。

(1) 講演会

開拓営農に取り組んでいる開拓者や開拓者以外の農家などの資質の向上や営農の推進を図るため、北海道帯広市において実施するとともに、講演会の開催概要をホームページに掲載しました。

日 時	平成 25 年 10 月 8 日（火）13 時から
場 所	北海道帯広市 とかち館
講師・演題	鈴木宣弘氏（東京大学大学院教授） 「TPP と日本農業の展望」 近藤龍夫氏（北海道経済連合会会長） 「北海道経済の再生と北海道農業」
参加者	201 名
広 報	協会ホームページ、開拓情報、十勝毎日新聞、 帯広市公報、北海道十勝総合振興局ホームページ、 帯広市ホームページ、チラシ
後 援	北海道十勝総合振興局、帯広市、十勝町村会、 十勝毎日新聞社、公益社団法人北海道畜産物価格安定 基金協会、北海道チクレン農業協同組合連合会等 20 機 関・団体

(2) 海外研修

TPP、WTO、EPA 等の交渉など海外との関わりが多くなってきていることから、開拓後継者、開拓組織の担当者等が海外の農畜産業の実態等を見聞することにより国際感覚の涵養と農業経営の向上に資するため海外研修を実施するとともに、研修の概要をホームページに掲載しました。

期 間	平成 25 年 11 月 3 日（日）～11 月 10 日（日）（8 日間）
研 修 地	オーストラリア連邦クイーンズランド州、ニューサウス ウェールズ州
参加者	12 名（含。事務局 2 名）うち女性 2 名

(3) 全国開拓青年・女性研修会

我が国農業・開拓営農の担い手である開拓後継者として全国で開拓営農に取り組んでいる青年・女性の資質の向上と相互の連携の強化、交流を図るため、全国開拓青年・女性研修会を全日本開拓者連盟及び全国開拓農業協同組合連合会と共催により実施するとともに、研修会の概要をホームページに掲載しました。

名 称 全国開拓青年・女性研修会 in 岩手
日 時 平成 25 年 11 月 19 日 (火)
～11 月 21 日 (木) の 3 日間
場 所 岩手県一関市、奥州市、陸前高田市等
参 加 者 90 名

2 開拓情報事業

開拓農家及び開拓組織の相互の連携の維持・強化を図るとともに、開拓者の営農のより一層の振興を図るため、全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会との共同編集により「開拓情報」を毎月、定期的に発行し、購読を希望する者に無償で提供するとともに、ホームページに掲載しました。

発行に当たっては、農政の動き、農畜産の技術及び経営に関する情報の提供、優れた開拓農家、開拓地の紹介及び中央・地方の組織の活動状況の紹介等幅広い情報の提供、紙面の充実に努めました。

開拓情報の主な記事は、つぎのとおりです。

発行年月 (号)	主 な 記 事
25. 4 (660 号)	<ul style="list-style-type: none">・ 総理が T P P 交渉参加表明・ 「食料・農業 知っておきたい話」 -8-・ 開拓地訪問(広島県三次市二井殿開拓)・ 国産食材への信頼が回復傾向に・ お茶の収量と品質を向上させる技術・ 搾乳牛の飼料費 1 割削減・ 鳥インフルエンザ発生拡大懸念・ 畜産物需給見通し

発行年月（号）	主 な 記 事
25.5（661号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ T P P 日本 の 交渉 参加 承認 へ ・ 「食料 ・ 農業 知 っ て お き た い 話」 -9- ・ ブドウ で 6 次 産 業 化 開 拓 3 世 が 仲 間 と ・ 津波 被 害 の 営 農 再 開 50% ・ カンキツ 重 要 害 虫 の 防 除 技 術 ・ 牛 群 検 定 に よ る 経 営 改 善 効 果 ・ 制 限 哺 乳 で 子 牛 の 発 育 ア ッ プ ・ 畜 産 物 需 給 見 通 し
25.6（662号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ T P P 産 業 と 雇 用 に 甚 大 な 影 響 ・ 「食料 ・ 農業 知 っ て お き た い 話」 -10- ・ 栃木 県 産 開 拓 ホ ウ レ ン ソ ウ 出 荷 開 始 ・ 農 薬 危 害 防 止 運 動 始 ま る ・ ナシ ・ リンゴ 白 紋 羽 病 の 温 水 治 療 ・ 泌 乳 中 ・ 後 期 牛 に 35% 給 与 た ち す ず か ・ 養 豚 経 営 安 定 対 策 事 業 新 算 定 方 式 ・ 畜 産 物 需 給 見 通 し
25.7（663号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協 会 第 1 回 定 時 総 会 開 催 ・ 協 会 ・ 連 盟 総 会 の 主 催 者 挨 拶 ・ 「食料 ・ 農業 知 っ て お き た い 話」 -11- ・ だ い こ ん 需 要 ・ 供 給 増 加 ・ イ チ ゴ 定 植 ～ 収 穫 ま で シ ス テ ム 化 ・ 総 飼 料 費 7% 削 減 に 養 豚 ・ 畜 産 の 規 模 拡 大 進 む ・ 畜 産 物 需 給 見 通 し
25.8（664号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当 協 会 公 益 事 業 で 参 加 者 募 集 ・ 「食料 ・ 農業 知 っ て お き た い 話」 -12- ・ 開 拓 地 訪 問 (鳥 取 県 広 留 野 開 拓) ・ 13 年 農 業 構 造 動 態 調 査 ・ チ ャ ト ゲ コ ナ ジ ラ ミ 発 生 状 況 に 応 じ た 対 策 ・ 畜 産 排 水 環 境 負 荷 物 質 を 低 減 ・ 分 娩 を 検 知 し、携 帯 電 話 へ 通 知 ・ 畜 産 物 需 給 見 通 し

発行年月（号）	主 な 記 事
25.9（665号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 14年度農水予算概算要求 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」-13- ・ 全国開拓青年・女性研修会開催概要 ・ 飼養衛生管理基準の遵守状況 ・ トマト 超微粒ミストで冷房 ・ 乳牛 生米ぬかペレット給与 ・ イアコーンサイレージを生産・利用 ・ 畜産物需給見通し
25.10（666号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当協会講演会開催 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」-14- ・ T P P 「年内妥結」目標維持 ・ 13年度上半期消費者動向調査 ・ 露地ピーマン 点滴かん水で収量アップ ・ 赤外線サーモグラフィで子牛の体温計測 ・ 光触媒で子牛育成舎の浮遊細菌低減 ・ 畜産物需給見通し
25.11（667号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第65回全開連通常総会開催 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」-15- ・ 丸浜柑橘連生産者大会開く ・ 農業景況前年に比べ悪化 ・ ピーマンの病虫害を防除 ・ 酪農家自らができる削蹄法 ・ 和牛子牛に代用乳漸減給与 ・ 畜産物需給見通し
25.12（668号）	<ul style="list-style-type: none"> ・ T P P 国民集会に3500人集結 ・ 「食料・農業 知っておきたい話」-16- ・ 政府が水田政策転換決定 ・ 上半期の牛肉需給動向 ・ メロン 整枝と誘引作業を省力・軽労化 ・ 排水処理 省スペース・低コスト化 ・ 12年度畜産物生産費 ・ 畜産物需給見通し

発行年月（号）	主 な 記 事
26.1（669号）	<ul style="list-style-type: none"> ・農水予算2年連続の増額 ・「食料・農業 知っておきたい話」-17- ・14年度畜酪対策 政策価格すべて引き上げ ・12年個別経営収支 野菜・果樹は好調 ・冬季ナス促成栽培 増収と品質向上効果 ・乳用育成牛への玄米給与 ・14年肉用牛出荷頭数予測 交雑種増加の見込み ・畜産物需給見通し
26.2（670号）	<ul style="list-style-type: none"> ・農政改革を実行へ ・「食料・農業 知っておきたい話」-18- ・生乳生産量の減少続く ・農商工連携で売上増 ・施設園芸の暖房コストを削減 ・豚の定時1回人工授精技術 ・黒毛和種 粳米35%長期給与可能 ・畜産物需給見通し
26.3（671号）	<ul style="list-style-type: none"> ・大雪、開拓地で深刻な被害 ・「食料・農業 知っておきたい話」-19- ・津波被害の営農再開まだ5割 ・食料消費前年に比べ増加 ・カボチャのうどんこ病・ワタアブラムシ 5割減農薬防除法を確立 ・乳牛 機能性サプリメントの給与 ・黒毛肥育 濃厚飼料25%玄米代替可能 ・畜産物需給見通し

3 開拓営農振興事業

開拓者の農業経営の発展と開拓営農の一層の推進及び国民生活に不可欠な食料の安定した供給を図るためには、開拓営農に取り組んでいる開拓者の農業経営の持続的発展・強化を図る必要があることから、次により開拓営農振興事業を実施しました。

(1) 開拓関係諸行事

会員が当協会の示す開拓関係諸行事事業から選定して実施する開拓営農支援対策及び開拓営農推進対策に助成しました。

(2) ブロック開拓関係諸行事

ブロック協議会が当協会の示すブロック開拓関係諸行事事業から選定して実施する研修会事業及び先進地視察事業等に助成しました。

(3) 表彰

開拓者が参加する共進会、品評会等において優秀な成績を収めた者に対して、開催者の申請により当協会の会長の表彰状のほか副賞を贈呈しました。

4 調査・研究

(1) 戦後開拓に関する資料の一般公開

戦後の幾多の苦難を克服し、輝かしい成果を上げるに至った開拓農家及び開拓組織の歩みに関する刊行物や資料を収集、整理・保管し、一般の利用に供するとともに、戦後開拓の資料について相談に応じました。

また、次の資料の寄贈を受けました。なお、「新鐘」、「満州 千振開拓史」はデーターの提供を受けましたので、一般に公開するため印刷をしました。

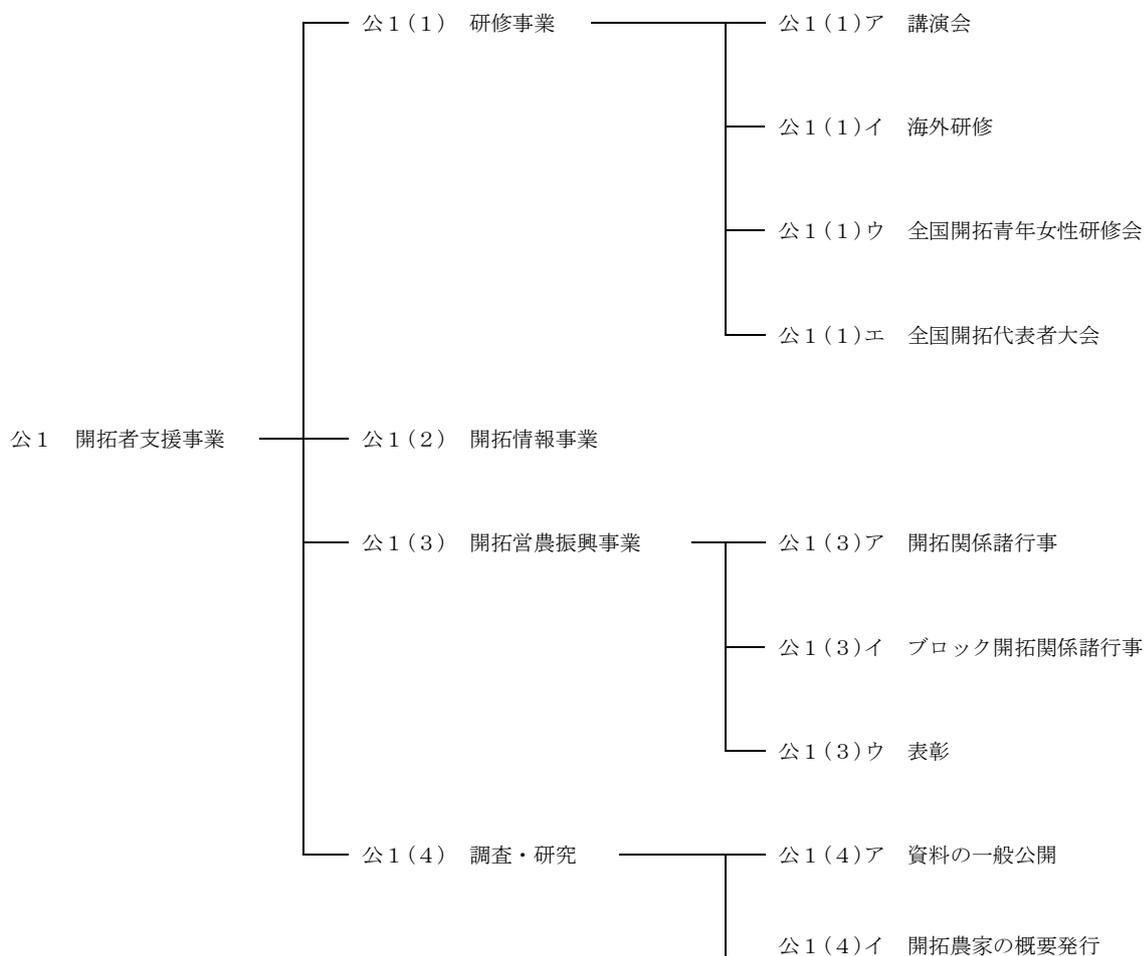
- ・中込敏郎氏 「自分史 米寿の眩き」
- ・玉田貞喜氏 「満蒙開拓青少年義勇軍とシベリア抑留の記録」
- ・千振開拓農業協同組合「新鐘」
- ・千振開拓農業協同組合「満州 千振開拓史」宗光彦著

(2) 開拓農家の概要の発行

24年度において実施した2010年世界農林業センサスの開拓者に関するデーターの組み替え集計をもとに分析を行いました。

印刷は26年度に行うこととします。

参考
事業体系図



Ⅲ 事業報告の内容を補足する重要な事項

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

(参考)

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成 19 年 4 月 20 日法務省令第 28 号）

第 34 条（事業報告）

3 事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。